

窓廻り装飾事業協会

次世代の担い手確保・育成へ

都内で設立総会



品川サンゲツショールームで開いた設立総会

窓廻り装飾事業協会は21日、設立総会を都内で開いた。窓まわり装飾関連企業や団体を組織化して、アイテムなどによって細分化・専門職化されている領域をつなげ、高齢化が進む工事や縫製の

品川サンゲツショールームで開いた設立総会

を調整し、

雨をよけるための可動式シェードなど」といった多様なアイテムがある。その中で採寸や取り付け工事が細分化、専門職化されている。現状は団塊の世代がまだ頭張っているが、少子高齢化で今後人材不足が懸念されている。そのため、ばらばらになっている窓まわり装飾関連領域をつなげる」とともに、「多様な窓まわりアイテムにも対応できる縫製や工事の技能を持った次世代の人材確保・育成が必要（東郷清次郎業務執行理事）とする。協会では窓まわり装飾事業に関わる企業と団体の組織化を図って情報を

共有し、窓まわり装飾事業の環境整備や標準化へつなげる。

さらに窓まわり装飾工事などの技能基準を定めて教育と人材育成を図り、事業の発展をバックアップする方針だ。建設技能人材機構と連携して特定技能外国人の確保へつなげることも、国内の人材育成を図る。将来的には「窓廻り装飾研究研修センター」を設立する構想もある。同協会是一般社団法人

として設立した。理事、役員は次の通り（敬称略）。
 理事長 羽生博明（弘和社長）
 △理事 木村明人（インテリックス社長）、加納諭（Prossimo社長）、湯澤隆司（ユザワ社長）、小嶋徳昭（グローバルテン社長）
 △監事 小川久（インク社長）
 △執行理事 池田岳久（シーエスエス東京社長）
 △業務執行理事 東郷清次郎（Office TOGO代表）

※この記事は『繊維ニュース』を発行するダイセンの転載許諾を受けています